

12人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 佐藤 和宏 「『阿蘇市版ライドシェア』導入の検討を」…P13
- 2 市原 正 「安全安心な野焼きを継続するためには」…P14
- 3 児玉 正孝 「危機管理監の役割と位置付けは」…P14
- 4 杉谷 保信 「空き家対策について問う」…P15
- 5 竹原真理子 「安全な水道水供給への取り組みは」…P15
- 6 佐藤 菊男 「滝室坂トンネルの開通時期は」…P16
- 7 五嶋 義行 「狩尾幹線の復旧の見通しは」…P16
- 8 中川 文久 「『地域おこし協力隊員』の募集と活動内容は」…P17
- 9 菊池 勝秀 「介護予防・防災拠点として『公民館（集会所）』の再生を」…P17
- 10 谷崎 利浩 「観光業が人材不足。対応は。」…P18
- 11 竹原 祐一 「外国人労働者との地域共存を」…P18
- 12 園田 浩文 「小中学校二学期制導入の検討を」…P19



佐藤 和宏

「阿蘇市版ライドシェア」導入の検討を

佐藤

公共交通については、少子高齢化に伴う市民の移動手段とインバウンド回復による観光客増加の影響で混雑緩和対策の議論が全国で進められている。本市でも同様に検討が求められるが、現在の状況は。

秦観光課長

主要観光地までの公共交通（路線バス・JR）は、便数など利便性に課題があり、観光客はレンタカー利用を選んでいる傾向にあります。タクシーもコロナ禍以降不足しており、特に休日、夜間の利用は予約無しでは待ち時間が長くなっている状況です。現在、対策として熊本県がWebタクシーの実証実験を行っています。

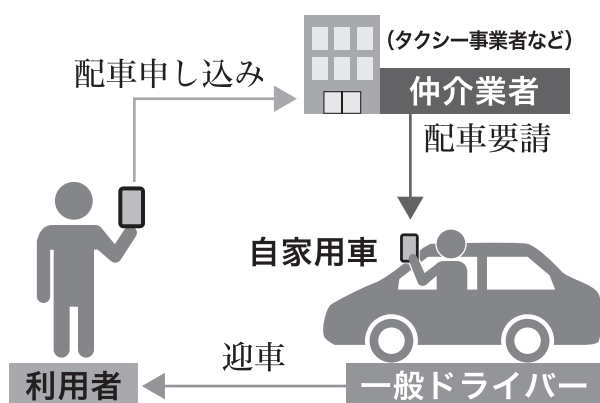
佐藤

市では、路線バスや福祉バス・乗合タクシーを実施しているが4月から解禁されるライドシェアの認可を受ければ、観光客や市民の移動手段として新たな取組みに繋がるのではないかと。ライドシェアで移動手段が解決するという事ではないが今後の有効な対策としてライドシェア導入を検討できないか。

廣瀬企画財政課長

一般ドライ

バーが自家用車を活用して有償で顧客を運ぶライドシェアは、タクシー会社の運行管理のもと公共交通の不足が深刻な地域などに限定して解禁されており、現在のところ市内タクシー事業者の方々と具体的なライドシェア導入の検討には至っていません。ライドシェアを導入した場合、タクシー不足に対応できる一方で、乗客の安全確保などの問題もあり、引き続き既存の交通業者と協議しながら、将来を見据えた持続可能な移動手段を模索していきたいと考えています。



「ライドシェア」のイメージ

安全安心な野焼きを継続するためには



市原 正

市原 多面的機能支払交付金事業での草原維持活動に関して、現在野焼き関係の作業等に支払う日当の金額は。

佐伯農政課長 1日上限9千円半日4500円を阿蘇市管内の牧野組合66組織で構成する運営協議会で取り決めていきます。

市原 参加された方々にきちんと日当が支払われ、金額も統一するよう行政指導を求めたいが。

農政課長 補助事業を活用するに当たっては各組合員末端までの合意形成が大原則で、そのことを再認識していただくよう周知を引き続き徹底したいと思います。

市原 安全に、更に作業を軽減するため、中山間地域直接支払交付金を活用して防火帯整備などが実施できないか。

農政課長 交付金を活用しての防火帯整備は可能です。野焼きが安全かつ安心に行える取組みを関係機関と協議し進めます。



阿蘇の野焼き

防災拠点施設を備えた第2庁舎の建設は

市原 能登半島地震が発生した後災害関連のテレビ番組で、ある大学教授が「これだけ日本各地災害が多いと各自治体が災害に直ぐに対応できる拠点施設を整備する必要がある」と提案していた。第2庁舎の建設については、これまで議会でも取り上げられてきたが、全国に先駆け防災拠点施設を兼ねた第2庁舎を整備してはどうか。

高木総務部長 防災を担当する立場からは、非常にありがたいご意見ですが、市が直面する喫緊の課題や当面の課題、それらを整理した上で中長期的な展望の下での防災拠点施設を備えた第2庁舎建設というふう

危機管理監の役割と位置付けは



児玉 正孝

児玉 災害時におけるリーダーとしての役割を担う危機管理監の任用に至った経緯は。

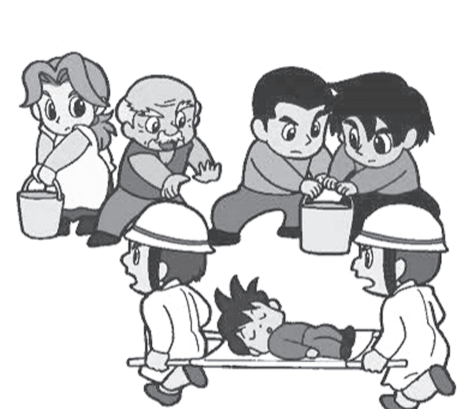
市原防災情報課長 市民の生命財産を守るべく緊急事態への体制整備や、職員の危機管理能力の向上を更に図ることを目的に、専門的な知見を有する方の採用に至りました。採用する危機管理監は、他自治体で防

災行政の実務経験がある自衛隊出身の方です。

児玉 任期付職員としての採用だが任期は何年か。

防災情報課長 任期は令和6年度から3年間の予定であり、最大2年の延長も可能です。

児玉 今まで総務部長が司令塔となり担ってきた災害対応を、今後は危機管理監が担っていくと思うが期待するものは。



みんなの参加で地域がつながる防災訓練

後のあらゆる災害に、より円滑に対応できるよう期待しています。

健康寿命を延ばすための取組みは

児玉 健康寿命を延ばすためには、**山内健康増進課長** 適度な運動と食事に気を付け、地区のサロン活動などで社会参加を自ら進んで続けていくことが必要であり、加えて、健康診断や特定健診を受けることが重要です。自覚症状のない時から継続して健診を受けることで病気の予防に繋がります。市では、受診の結果に応じて、保健師や管理栄養士が生活習慣や食生活についての個別指導を行っています。

他に「人口知能(AI)」「職員の副業について」の質問がありました。

空き家対策について問う



杉谷 保信

杉谷 空き家の定義と判断基準は、**市原防災情報課長** 空き家の定義は、建築物又はこれに属する工作物であって居住その他の使用がなされていない状態のことです。判断基準は、建築物の所有者等による利用実績等について総合的に客観的に判断することとされておりあります。

杉谷 改正空き家対策特別措置法が令和5年12月13日に施行されたがその内容は、

防災情報課長 「活用の拡大・管理の確保・特定空き家の除去」等での対応強化を目的として、所有者に対し、国・自治体の施策に協力する努力義務が追加されました。改正後の法律に基づき、所有者の責務強化に沿った対応を求めていると考えています。

杉谷 空き家問題について、一般社団法人等と自治体が連携協定を結んでいる事例があるが、市の考えは、

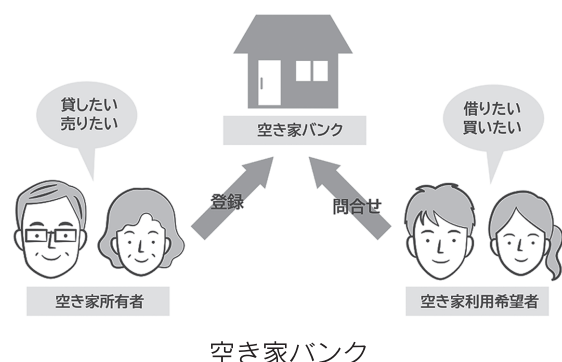
石松まちづくり課長 平成28年から、空き家バンクに登録する物件の調査やその後の媒介などに関して

熊本県宅地建物取引業協会と協定を締結し取組んでいます。

杉谷 空き家バンクの登録数及び賃貸や売買の成立件数は。また、空き家解消に向けた取組みは。

まちづくり課長 これまで空き家バンクに登録した件数は341件でその内、賃貸と売買が成立したのは216件となっています。空き家の解消に向けては、本年10月を目途に設置予定の「移住定住支援センター」に専門の人材を配置して空き家バンクの充実を図っていきます。

他に「奨学金返済への負担軽減策の検討について」の質問がありました。



安全な水道水供給への取組みは



竹原 真理子

竹原 水道事業は、2018年の水道法改正で民間委託が可能となっており、全国では市民が知らない間に外資系の会社に委託する自治体が増えている。熊本県内でも検針や料金徴収等を委託し、5年間で33億円を支出している自治体があるが、市は他自治体の民間委託の状況を把握しているか。また、今後の経営方針は。

竹原上下水道課長 県内47事業体のうち、徴収や窓口業務など委託している事業体は7事業体。取水、浄水施設や配水施設の運転管理など委託している事業体は12事業体あります。市としては、民間委託の予定はなく、直営を堅持していきます。

竹原 安全な水道水供給への取組みは。

上下水道課長 水道水の安全と安定的な供給が水道事業を行う上で最も重要とされています。水道法に基づく水質の定期検査や適正な減菌処理により、安全な水道水供給に努めています。

こども食堂について

竹原 本市における「こども食堂」の現状と支援の状況は。

松岡福祉課長 令和5年度に市補助を活用し運営を行った団体は1団体です。運営については団体等の自由意思による社会貢献活動として行われますが、人の手配や安全な食材の確保などに苦慮されており、寄附やボランティアが不可欠となっています。

寄附を希望される場合は、直接こども食堂に連絡をされるか、県のホームページに掲載されている「こども食堂コーディネート」にご相談ください。

子ども食堂(地域食堂)の多くはボランティア活動や寄付によって支えられています。



ボランティアとして参加する

調理、子どもとの関わり、学習支援等、得意分野を活かして参加することができます。



食材等を寄附する

お米や日持ちのする加工食材等、ご支援を随時受け付けています。



活動資金を支援する

活動に賛同いただける企業・個人様からのご支援を随時受け付けています。

こども食堂

滝室坂トンネルの開通時期は



佐藤 菊男

佐藤 国道57号滝室坂トンネルはいつ頃開通する予定か。

中本建設課長

トンネルの中を覆う工事が93パーセントの進捗で、国道との取付工事等が進められていますが、開通時期は未定とのことですが、

佐藤

地域高規格道路「竹田阿蘇道路」の早期の整備促進を熊本県大分県と一緒に、国土交通省や財務省へ力強く要望されたい。

佐藤市長

波野地区において重要な課題を抱えている部分もありますので、それを含め力強く前へ進みそして大分と熊本間が早く一本の道路で結ばれるよう、関係機関にしっかりと要望していきます。

阿蘇望橋の補修について

佐藤

広域基幹林道阿蘇東部線の「阿蘇望橋」補修設計業務が完了しているが、補修工事の着工予定時期はいつ頃計画されているのか。

佐伯農政課長

補修設計で概算工事費が多額となるため、補助事業等の検討を行い財政状況に応じ、計画

的に施工を検討します。

佐藤

以前に質問した、橋周辺の竹や雑木等の伐採による景観保全と整備は。

農政課長

改修工事の中で重機等の有効利用を計画するとともに、地域の協力をお願いしながら河川敷の繁茂した樹木、竹林等の除去等の景観整備を検討します。

農業振興地域整備計画について

佐藤

高齢化や農業後継者がいないことから離農を決意する農家が増え、多くの原野の荒廃化が進んでいるが、農業振興地域の除外で植林等による土地の有効利用の取り組みがあれば、農政課に相談いただき、個別案件として対応していきます。

佐伯農政課長

農振除外の要望があれば、農政課に相談いただき、個別案件として対応していきます。



平成11年完成当時の「阿蘇望橋」

狩尾幹線の復旧の見通しは



五嶋 義行

五嶋

地元地域では「熊本地震から8年経つが道路はどうなるのか」との声があがっている。復旧の見通しは。

中本建設課長

整備の方向性としては、熊本県に対して山林を守るための治山事業ということで要望を続けていますが、復旧の見通しは立っていません。

五嶋

狩尾幹線は、昭和41年に国の一大事業として総額約40億円を投じた「国営阿蘇草地改良事業」によって整備された。もともと農林水産省が造った道路であることから、農業用に戻して整備をお願いするなど国への働きかけはできないか。

藤田経済部長

山腹崩落の危険性を取り除くための治山工事を、市道ということで急いでもらっており道路整備については段階を踏んで取り組んでいくべきものと思っています。莫大な費用がかかりますので国や県への要望活動は引き続き行っていく必要があります。地元の盛り上りが大事となります。

五嶋

震災後、市が道路復旧を諦めたとの報道に対し抗議をした経緯があるが、道路復旧に対する市長の思いは。

佐藤市長

住民の皆さん方の何とかして開通したいという強い思いがありますので、私も決して諦めた訳ではありません。地元の方の御意見をよく聞きながら、少し時間はかかってでも開通に向けて国県への要望も行っています。

現在は、早く山を治めるということに集中しておりますが、その後にについては、地元の方や議会とも協議をした上で前に進めていくことが一番かと思っています。

他に「高規格道路」「地下水保全」「図書館の利用向上」等の質問がありました。



市道狩尾幹線

「地域おこし協力隊員」の募集と活動内容は



中川 文久

中川 令和6年度に取組む「地域おこし協力隊員」の募集内容は、

石松まちづくり課長 7月に2名の採用を計画しており、市ホームページや、民間のサイトで募集します。まちづくり課では「移住定住推進」について、観光課では「インバウンド対応」についての人材を募集します。

中川 良い人材に来てもらうためには、何をしてもらうかを明確に示すことが大事だと思うが。

まちづくり課長 移住を検討する方に対して、暮らしに関するリアルな体験談をSNS等で発信する事業など、10月に設置予定の「移住定住支援センター」運営を含めた活動内容を募集要領に明記していきます。

中川 隊員になった方には、市民からのサポートも大事になると思うが。

まちづくり課長 各地域とのコミュニケーションが大事となりますので、隊員への支援体制を整えていきます。

阿蘇たかな「ハクサイダニ」の対策は

中川 昨年に続き今年もハクサイダニの影響がでているようだが、有効な対策は。

佐伯農政課長 現在のところ有効な農薬がないことから、白菜用農薬での効果について試験が行われています。通常の場合、薬効や薬害などの栽培試験を経る関係で、国の認可までに約3年から5年かかるようです。農薬以外の対策としては、被害が発生した圃場で連作をしないことや、夏場の太陽熱による圃場の消毒のほか、耕起、周辺の除草作業等があげられますので、広く周知を図っていきます。

阿蘇市「地域おこし協力隊員」2名募集



地域おこし協力隊

移住定住
支援
1名

インバウンド
観光対応
1名

介護予防・防災拠点として「公民館（集会所）」の再生を



菊池 勝秀

菊池 本市の65歳以上の方は約40パーセントと、今後、介護を必要とする方が増えていく中、例えば地域の公民館（集会所）を、サロン等の通い・集いの場としてもっと活用すれば、身体的なほか、認知の維持・改善等が図られ介護予防に繋がると思う。また、多くの方が集れば顔見知りが増え、災害時にも連携した避難所運営も可能となる。ただ、多くの公民館が、洋式トイレでなく老朽化で傷んでおり、改修費は住民負担である。そこで、最近、高森町が全額

の補助事業で、介護予防拠点としてトイレ等を改修した。同様に補助金で改修はできないか。

宮崎市民部長 本市の介護関連施設では、スタッフ不足等で利用・入所ができない状況があります。現在県の補助事業には、スタッフや施設

南海トラフ巨大地震を想定した備えは
菊池 南海トラフ巨大地震は、静

岡県沖から鹿児島県の広範囲で発生し、特に大分・宮崎県は津波による甚大な被害が予想される。本市にも大分県等から避難者受入の要請があると思われるが、市独自のホテル等との協定は。

市原防災情報課長 広域避難者の対応は、県が調整するため、市独自の協定等は行っていない。

菊池 この地震の規模では、県の指示や調整はまず期待できない。市独自で事前協定し、二次避難施設として部屋を確保してはどうか。

佐藤市長 縦割り横割りという問題ではありませんが、直接という訳にはいかないことはご理解願います。

他に、「担い手不足が進む野焼きへの積極的な支援」について質問がありました。



改修等が望まれる地区集会所

観光業が人材不足。対応は。



谷崎 利浩

谷崎 TSMCの経済効果に対し市は観光に力を入れるというが、宿泊業等では人材不足で稼働率が下がっている。人材確保への対応は。

秦観光課長

従業員不足により宿泊業では客室に対して8割前後の稼働状況となっています。また、人手不足等の理由で、旅館組合に加盟する21軒のうち、4軒が年末年始に休業するという今までにない事が起きています。対策としては業務改善により体力をつけ、良い雇用条件につなげることが基本と考えます。これまで宿泊施設や店舗の60数軒が国の補助を活用して上質化高付加価値化を図り、高単価の販売ができる基盤を整え、一定の成果を出しています。人材不足は全国的であり、また介護や農業など全般的な問題ですので、どういった政策が良いのか分析して対応したいと思います。

や世界文化遺産推進に影響を与えるが対応は。

村上住環境課長

法令上では、規制するものがないため、世界文化遺産推進への影響が懸念されます。

現在の対応としては、指導要綱に基づき、事業者には土地の権利を取得する前に協議をお願いしています。

また、県に対して阿蘇全域として捉えるべきであるとの認識で、強く対応の協議を行っているところです。

谷崎

熊本市の地下水について新たな学説を聞いたが。

住環境課長

元九州大学の島谷先生は、「阿蘇の地下水が熊本市の地下水を潤している」との学説を唱えていますので、阿蘇地域の水源涵養の重要性について、強く主張していきます。



竹原 祐一

竹原 技能実習生の受け入れ人数等の状況は。

森永市民課長

市に住民登録をされている外国人は、本年1月31日現在で697人です。技能実習の資格の方は293人になります。市民課では受入れ先事業所等の情報はありません。

竹原

黒川地区に、技能実習生が企業に配属される直前に入国後講習を受ける「阿蘇技能研修センター」の開設が予定されている。人口減少、人手不足の中、外国人労働者の必要性は増大していくと思われるが、入国後の日本語講習では、日常会話をマスターする事は難しく、地域との交流においても意思疎通が困難を極めるのではと危惧される。市の対策は。

石松まちづくり課長

外国の方に日本の習慣や文化を学んでもらうことを目的として、昨年10月から地域日本語教室「にほんごあそびば」を開設しています。また、昨年1月に阿蘇市多文化共生連絡協議会を立ち上げており、関係機関等と連携しな

外国人労働者との地域共存を

がら、日本人も外国人も互いに暮らしやすい「多文化共生のまちづくり」を推進していきます。

学校給食に有機農産物を

竹原 国は、2050年に向け「みどりの食料システム戦略」を制定し有機農業耕作面積を約100万ヘクタールに拡大する目標を定めている。学校給食での有機農産物使用について検討できないか。

佐藤市長

生産量の面から学校給食で取り扱うのは困難です。議員から生産者に働きかけをしていただくと有機農産物の生産者が増えてくると思いますので、その時点で検討します。

他に「高齢者・障害者の皆さんの避難所生活について」の質問がありました。



阿蘇の景観を阻害するメガソーラー



地域日本語教室「にほんごあそびば」

谷崎

メガソーラーは阿蘇の景観

世界文化遺産登録に向けた取り組みについて

小中学校二学期制導入の検討を



園田 浩文

園田 これまでに、二学期制導入について校長会や関係機関等で検討されたことはあるか。

藤井教育課長 教育委員会や校長会等で二学期制が話題になったことはありません。

園田 今後、保護者や学校側から導入についての声が上がれば、検討されるのか。

教育課長 三学期制を二学期制にした場合の環境変化を考慮し、委員会内で十分検討し校長会等で協議していきます。

園田 教育委員会としては、三学期制が子供達にとっても最善であるとの認識か。

坂梨教育長 二学期制については今のところ導入の予定はありませんが、各小中学校では、学校長の裁量である通知表を令和6年度から年2回にすることとなっています。このような2学期制のメリットを3学期制の中で活かしながら、より充実した学校教育に取組んでいきます。



小学校の授業

阿蘇の温泉資源を守るためには
園田 地震後の源泉・温度等の現状は

秦観光課長 鉾泉地の登録は法人及び組合46筆、個人が37筆、合計83筆です。地震後の湯量、温度等については、概ね地震前と変わらない源泉が多いようですが、一部に温度や湯量の増減が見られます。

園田 源泉の維持管理に関して管理者への支援を検討できないか。

観光課長 温泉のレジオネラ菌調査は旅館組合等への支援を行っておりますが、源泉（管）の清掃等については実態把握を行います。

他に「医療センター常勤医師の確保に伴う改修工事と今後の患者の動向について」の質問がありました。

傍聴してみませんか /



阿蘇市議会 次回開催予定



定例会	会期日程	一般質問
令和6年 第3回 (6月)	5月31日(金) ～ 6月19日(水)	6月17日(月) 18日(火)

※正式な日程は、議会運営委員会で最終決定となります。お知らせ端末やホームページで改めてお知らせします。場合によっては、日程の変更や傍聴を制限することがあります。